芦屋市制70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」

第2期分・27作品が入選しました

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

「芦屋の四季・70選」第一期(十月～十二月)分の芦屋の風景写真を募集したところ、四十一人のかたが百点の写真をお寄せくださいました。

市では一月二十一日に第二回選定委員会を開催、厳正な選考の結果、次の二十七作品が入選しました。

【第二期入選作品】

- ■丹下 邦彦さん「芦屋川河口暮色」
- ■小西 信久さん「土蔵の見える通学路」
- ■堀川 達也さん「芦屋川・黒松並木」
- ■妹尾 陽子さん「秋たけなわ・開森橋周辺」
- ■小林 滋子さん「芦屋川・秋涼」
- ■島村 幸重さん「落ち葉と少年・緑町」
- ■仲良し仲間・西浜公園」
- ■竹田 委久子さん「潮芦屋・海釣り公園の落日」
- ■古川 茂見さん「朝もやのマリンセンター・浜風町」「紅葉のアーケード・宮塚町」
- ■ポール・ファウストさん「紅葉する街・緑町」
- ■浜田 吉弘さん「芦屋シーサイドタウン展望」
- ■加納 陸宏さん「あゆみ橋夕景・宮川河口」
- ■小川 久さん「仲ノ池の晩秋」
- ■林田 春雄さん「館を彩る晩秋のツタ」
- ■覚道 幾三郎さん「秋の彩り・山手町」
- ■山内 守さん「すすき・芦有展望台」「初雪・ゴルフ橋付近」
- ■中井 茂人さん「仲ノ池夕景」「カトリック芦屋教会」
- ■中井 拓人さん「芦屋川の秋・開森橋付近」
- ■後藤 輪香子さん「だんじりが行く・大正橋」
- ■黒住 敬一郎さん「夕暮れのマリーナ・海洋町」
- ■佐々木 泉さん「水・風・空…芦屋の秋」
- ■原 孝志さん「潮芦屋が紅に染まるころ・潮風大橋で」
- ■吉川 艶子さん「芦屋雪景色・業平公園西」「クリスマスイブ・ラポルテの光彩」

選定委員

■山中 健　芦屋市長
■永田 徹　ハナヤ勤兵衛撮影部長
■和井田行彦　デザイナー・画家
■井上 正三　画家
■中村 公彦　広報課委託カメラマン

丹下 邦彦「芦屋川河口暮色」

小西 信久「土蔵の見える通学路」

堀川 達也「芦屋川・黒松並木」

妹尾 陽子「秋たけなわ・開森橋周辺」

小林 滋子「芦屋川・秋涼」

島村 幸重「落ち葉と少年・緑町」

島村 幸重「仲良し仲間・西浜公園」

竹田 委久子「潮芦屋・海釣り公園の落日」

古川 茂見「朝もやのマリンセンター・浜風町」

古川 茂見「紅葉のアーケード・宮塚町」

ポール・ファウスト「紅葉する街・緑町」

小川 久「仲ノ池の晩秋」

浜田 吉弘「芦屋シーサイドタウン展望」

林田 春雄「館を彩る晩秋のツタ」

加納 陸宏「あゆみ橋夕景・宮川河口」

覚道 幾三郎「秋の彩り・山手町」

山内 守「すすき・芦有展望台」

山内 守「初雪・ゴルフ橋付近」

中井 拓人「芦屋川の秋・開森橋付近」

中井 茂人「仲ノ池夕景」

黒住 敬一郎「夕暮れのマリーナ」

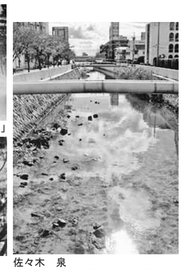
後藤 輪香子「だんじりが行く・大正橋」

中井 茂人「カトリック芦屋教会」

原 孝志「潮芦屋が紅に染まるころ・潮風大橋で」

吉川 艶子「芦屋雪景色・業平橋南」

吉川 艶子「クリスマスイブ・ラポルテの光彩」


佐々木 泉「水・風・空…芦屋の秋」

第2期〈平成21年10月～12月〉入選作品を紹介します

■下記の入選作品は、応募の早かったかたの順番で紹介しています。また、編集の都合で縦・横の大きさが異なっていますが、作品の優劣・順位とは一切関係ありません。ご了承ください。

＜敬称略＞

芦屋の人

撮影・桑田敬司(ハナヤ勤兵衛)

芦屋でサクラの新種発見！「極楽寺桜(ゴクラクジザクラ)」・「天賜香(テンシコウ)」と命名

極楽地 太一

父・勝彦は、一昨年の一月に九十二歳で天寿を全ういたしましたが、昭和四十年代には市議会議員を務め、その間二度ほど市議会議長も経験させていただいたりしていました。

しかし、わが家は代々専業農家で、父も私も自然の恵みと寄り添うようにして生きてきました。今では、芦屋市内の農家は六軒です。昔は芦屋にも農協がありましたが、平成六年に解散して以来、今はJA兵庫六甲に属しています。

父は、生前、わが家の家系について調べたことがあります。

祖父や祖母からの聞き取りなどが主なのですが、昔は寺であったようで「極楽寺」と名乗っていたようなのです。父や祖母は、そう書かれていたのを昔の戸籍で見たことがあるといっていました。

ともあれ、鎌倉時代の終わりころ北条氏の子孫だった極楽寺家の初代は、南北朝になると京都に逃れ久我荘園という荘園の管理をしていたが、豊臣秀吉に領地を没収されたため、打出村に逃れ、山中で棚田を開墾し、現在に至ったと。また、武田信玄が西宮の鷲林寺へ落ちのびた際に立寄った極楽寺は、追跡を逃れるため焼き払われたとか、諸説あったようです。しかし鷲林寺へ行くと、今でも武田信玄の墓があるし、あながちでたらめとは思えない節もあるのですが、そのまま家系図づくりは立ち消えになってしまいました。それが、今から三十年くらい前のことです。

昭和初期から住宅化の波にのまれ始めた岩ケ平周辺ですが、それでも私が子どものころにはまだ赤松林が残っていて、低木には芦屋の市の花コバノミツバツツジが群生していました。春には、赤松の緑とコバノミツバツツジのピンクの花の色が鮮やかに映え、実に美しい景色でした。目に焼きついています。それに、夏には里のホタルといわれる平家ボタルが群舞し、家の中まで入ってきていました。赤松林が消えた震災前でも、きれいな湧き水は出ていたので、田にはクレソンを植えていました。そのときには平家ボタルもたくさん増えたのですが、最近はずいぶん数が少なくなってしまいました。

失われていく自然を少しでも引き止めておきたいと、昔、棚田が何枚もあった山麓線沿いの田の土手に、私は種から大切に育てた五十本近くの枝垂桜を植えました。今では春には美しい花を咲かせるようになりましたが、その桜の後ろに、私が芦屋川の上流付近で偶然に発見した桜の新種「極楽寺桜」も植えています。四月の下旬から五月にかけて咲くカスミザクラの一種です。原木は、私が発見後すぐにマンション建設でなくなりましたが、発見時にもらった枝先を接木して育てたサクラの木です。もう一つの新種「天賜香」という八重咲きの大変香りのいい山桜も、原木はなくなりましたが四月初旬に土手で花を咲かせます。田の手入れした下草の緑とともに楽しんでください。

市街地に自然林を残したいというのは、父や私の切なる願いです。桜の季節には桜を愛でつつ、今回市へ寄贈した緑地も、どうか市民の皆さんの手で、後世へとつないでいっていただけたらと、心から願う毎日です。

●極楽地 太一(ごくらくじ たいち)氏
昭和二十七年十一月二十六日、岩園町生まれ。有機農法による専業農家。平成二十年十月、自然保護に役立ててほしいと、市に緑地六千三百㎡を寄贈。現在、緑地は岩園緑地・六麓荘西緑地として、標識も新たに昨年の春から市民に開放。平成二十一年、紺綬褒章受章。岩園町在住。

市の財政状況をお知らせします

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

市の予算は、毎年4月に始まって翌年3月までの1年間を会計年度として執行されますが、今回はそのうちの昨年12月までの概況をお知らせします。

「安全・安心で快適な住環境の実現」を目指して

平成21年度予算は、「安全」と「環境」、「保健・福祉」および「教育」を重点項目と位置付け、各事業に必要な予算を計上しました。

現在の予算は下表のとおりで、一般会計が416億4,481万円、特別会計が209億2,617万円となっており、学校・幼稚園の耐震化などの施設整備に要する経費の追加等の補正予算と繰越事業費を中心に当初予算に比べ、それぞれ18億9,481万円、1億3,177万円の増額となっています。

市の借金にあたる市債残高については、震災関連事業の実施に伴い急増し、ピーク時の平成13年度末には1,119億円に達しました。しかし平成14年度以降は減少に転じており、平成20年度末時点で前年度と比較して約75億円減少し、794億円となりました。

しかしその一方で景気低迷が長引いており、本市でも個人市民税を中心に減収等の影響が出ていることから、今後は再び厳しい財政運営を強いられるものと予想されます。

■平成21年度各会計予算額および執行状況(平成21年12月末現在)単位:千円

会計区分		現計予算額	収入済額	支出済額
一般会計		41,644,810	24,332,497	21,812,424
特別会計	国民健康保険事業	8,651,159	5,240,080	6,377,643
	下水道事業	2,882,225	1,331,716	1,519,720
	公共用地取得費	631,000	5,390	123,564
	都市再開発事業	27,000	51,803	14,550
	老人保健医療事業	28,008	3,932	24,451
	駐車場事業	335,100	35,586	110,742
	介護保険事業	6,205,678	3,553,017	3,851,136
	宅地造成事業	821,000	376,700	17,339
	後期高齢者医療事業	1,345,000	792,106	864,773
小計		20,926,170	11,390,330	12,903,918
財産区会計	打出・芦屋財産区	77,400	54,481	71,986
	三条・津知財産区	2,100	2,055	776
小計		79,500	56,536	72,762
合計		62,650,480	35,779,363	34,789,104

■主な建設事業予算の執行状況(平成21年12月末現在)単位:千円

事業名	現計予算額	支出済額
南芦屋浜道路整備事業	1,343,800	1,307,457
文化交流施設の整備に要する経費	1,152,278	722,936
南芦屋浜都市公園整備事業	734,206	728,993
都市計画道路街路事業(山手幹線)	665,193	320,682
大気汚染対策緑地建設事業(総合公園事業)	575,712	575,712

※支出済額には支出予定額が含まれます。

東山出張所に、消防ポンプ自動車を1月15日付けで更新配備しました

消防本部では、平成5年度導入の消防ポンプ自動車が「NOX・PM法」により運行できなくなるため、平成21年度事業で消防ポンプ自動車を購入し、1月15日付けで東山出張所に配備しました。

この消防ポンプ自動車は、5人乗り3トン車で、600リットルの水槽を搭載、水と消火薬剤を圧縮空気で泡状にして、少量の水で消火効果があるキャフス装置を装備しています。今回の配備で、消防活動の充実と強化を図りました。

※車両の購入には、石油貯蔵施設立地対策等交付金を充当しました。

問い合わせ
消防本部警防課
通信装備担当
☎38-2097

動産・不動産公売

市税の滞納により差し押さえた動産については、インターネットでのせり売り・入札で、不動産については兵庫県(西宮県税)・西宮市と合同公売を行います。入札は、どなたでも参加できます。

【動産】 ■公売物件 版画1点(クリスティ作)/洋酒(ブランデー等17本) ■公売期間 3月5日・午後1時～8日・午後2時 ■申し込み 2月16日・午後1時～3月1日・午後5時

【不動産】 ■公売物件 土地(宅地71.31㎡)および家屋(木造瓦葺平屋建・現況スレート葺・床面積33.28㎡) ■所在地 西山町 ■入札日時 3月2日(火)午後2時～2時20分 ■会場 消防庁舎3階多目的ホール

※詳細は、公売広報・市ホームページ等を参照。動産をご覧になりたいかたは下記へ。

問い合わせ 収税課 ☎38-2014

白バラだより

「政権交代」を多くの有権者が望み、私たち誰もが期待に胸を膨らませていたのは、少し前のことでした。

そんなつい先日、ある絵本作家の講演会に参加したのですが、そこで大変驚かされたことがありました。

今の子どもたちは夢を持つことが少なくなってきたといわれて久しいが、小学生の口から「安定した生活がしたい」と言う言葉を聞いたというのです。周りの大人が夢を持っていないから、子ども夢を持てないのか。夢につながるきっかけが奪われているのか。

望むのは、子どもたちが夢を見られるような、安心な社会の実現です。そのためには、政治家にもクリーンで有言実行の政治をしてもらい、就職・教育・福祉といった身近な問題が、少しずつでも現状より良くなるようにしていかなければなりません。

一方、国民一人一人も自分たちに関わってくることであると自覚し、今後の政治の動向を、厳しい目で見守っていかなければと、改めて思わされた出来事でした。

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100

「芦屋の四季・70選」第3期写真募集

市では、「市制施行70周年」を記念し、市民の皆さんに撮影していただいた芦屋の美しい風景を、記念写真集「芦屋の四季・70選」に掲載、未来へと芦屋の景色を残していきたいと考えています。

第3期募集分の締め切りは、4月5日(月)必着〈消印有効〉でお願いします。多くの皆さんのご応募を、お待ちしています。

ユリオフスデイジー(総合公園)

芦屋の美しい風景を、市制70周年記念写真集に残しましょう！

【募集要領】

- ■テーマ 2010年1月～3月〈冬・浅春〉芦屋の風景セレクト
- ■内容 ＜第3期募集＞原則として、今年撮影した市内の風景写真
- ■対象 市内在住・在勤・在学のかた
- ■規格 カラープリント・デジカメプリント2Lサイズ(1人3枚以内)
- ■謝礼 各期ごとに、入選作品に図書カード(3,000円)進呈
- ■応募方法 応募作品の裏面に、住所・氏名・年齢・電話番号・作品タイトル(撮影場所)・撮影年月日を明記の上、4月5日(月)＜消印有効＞までに、郵送または持参で広報課へ
- ■選考方法 選定委員により、各期ごとに10点～20点を選考
- ■その他 作品は、未発表の写真に限ります。応募作品の使用権は市に帰属し、作品は返却しませんので、ご了承ください。

問い合わせ 広報課 ☎38-2006(〒659-8501 住所不要)